

グエン イニイ

ベトナム出身

麗澤大学 外国語学部外国語学科

「車いすインストラクター初級講座」への参加

先月インターンシップの研修として「車いすインストラクター初級講座」に参加しました。この講座の目的は、車いすユーザーの社会参加を促進する機会を作る「車いす操作スキル」を習得することによって、障害者が障害受傷後の心理面の課題に前向きに取り組み、車いす体験を自尊感情の向上につなげることです。この講習を受けることで、車いすユーザーの生活範囲は大きく広がります。一方、障害を持つ人ではなくても、実際に車いすの体験で、障害者の立場から、社会生活制限が理解でき、今後障害者にどのように適切に助けるのかわかるようになります。

2日間を通して、楽しみながら、車いす操作を練習しました。さまざまなスキルを学びました。車いすはたくさんのことことができ、意外に面白かったです。そして、一番難しかったスキルは、5cm—12cm の段差を登るスキルです。キャスター上げでバランスを取って段差に登ることを練習しました。普段街の中でそのような段差が結構ありますので、そのスキルを身につけることで、車いすユーザーは他の人に頼まずに、自分自身でより広い範囲を移動することができます。

講座の最後に、参加者は障害を持った方たちと車椅子を使ったゲームをして遊びました。車いすで運動しながら、遊ぶことが意外にとても面白かったです。そして、筑波大学の学生で障害を持っている林さんと友達になりました。お弁当を食べながら、さまざまなことを話し、障害者をよりわかるようになりました。また、日本では障害者は普段でも、専用の車に乗り、運転することができることを始めて知って、驚きました。

従来、障害を持つ人のことについてしっかり考える機会がなかった私にとって、車いす講習の参加は非常に貴重な体験でした。障害者に対する考え方も変わりました。障害者は可哀想という気持ちで対応するのではなく、社会生活における部分に制限がある人に対する気持ちで、尊重し、対応する姿勢になりました。

最後に、試験に合格し、車いすインストラクター資格をもらいました。二日間でたくさんのこと学んできて、障害を持つ人のことをより理解できるようになりました。とても良かったと思います。

以上

